

2006 年度

科目名 米文学概論 2	対象学科・学年 文学部英米 2 回生	担当者 北川 文雄
授業テーマ 米文学の要点と特徴の把握		
授業の概要と目標 ヨーロッパの理想郷として発見された新大陸アメリカは、一体どのような意識をアメリカに移住してきた人々の精神に植えつけることになったのか。植民地時代から現代に至るまでの時代と社会の移り変わりを概観し、アメリカの人々の意識を規定する支配的なイデオロギーを検討するとともに、文学はそれに対してどのような姿勢をとってきたのか、主要な作家とその作品を検討しながらアメリカ文学の特徴を探究する。		
評価方法 出席状況と学期末テストを総合して評価する。		
テキスト 『はじめて学ぶアメリカ文学史』	著者 板橋好枝 高田賢一編著	出版社 ミネルヴァ書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 第5章 アメリカ文学の成熟 (1) Sherwood Anderson 2. 第5章 アメリカ文学の成熟 (2) F. Scott Fitzgerald 3. 第5章 アメリカ文学の成熟 (3) Ernest Hemingway 4. 第5章 アメリカ文学の成熟 (4) William Faulkner (1) 5. 第5章 アメリカ文学の成熟 (4) William Faulkner (2) 6. 第5章 アメリカ文学の成熟 (5) John Steinbeck 7. 第6章 第二次大戦後の文学 (1) Saul Bellow 8. 第6章 第二次大戦後の文学 (2) Bernard Malamud、J.D. Salinger 9. 第6章 第二次大戦後の文学 (3) Flannery O'Connor 10. 第6章 第二次大戦後の文学 (4) William Styron, Walker Percy 11. 第7章 アメリカ文学の現在 (1) John Barth 12. 第7章 アメリカ文学の現在 (2) Thomas Pynchon 13. 第7章 アメリカ文学の現在 (3) Toni Morrison 14. 第7章 アメリカ文学の現在 (4) Alice Walker 15. 第7章 アメリカ文学の現在 (5) John Irving		